

## ねらい

外国語活動の趣旨を踏まえた指導法を学び、ALTや地域人材等の協力を得ながら、コミュニケーション能力の素地を養う外国語活動を展開することができる。

体験型の研修が効果的です。

まずは指導者が  
外国語活動を体験し  
楽しみましょう

中学校及び校区内の他の  
小学校に声をかけて一緒に  
研修しましょう。

### 基本的な考え方を共通理解する

- ・学習指導要領に示された目標等について理解する。
- ・外国語活動をすすめる上での留意事項について確認する。

演習と組み合わせると、基本的な考え方を踏まえた授業の具体的なイメージができます。

Good!  
Great!

### さまざまな活動を体験する

#### 児童役になって

- ・チャンツやゲーム、コミュニケーションを楽しむ活動を体験する。

活動を実際に体験し楽しむことで、活動のイメージがわきます。

#### 指導者役になって

- ・授業を進行したりデモンストレーションをしたりする。

活動の設定の仕方や声かけ等、活動を進める上での留意点がより明確になります。

研究授業の事前研修会に取り入れると、指導案の検討では気付かなかった改善点が発見できます。

教材・教具を使うことが目的にならないよう、ねらいや児童の実態に応じて活用を精選しましょう。

### 外国語や文化に慣れ親しむ

- ・ALT等との簡単な対話、クラスルームイングリッシュ等を体験する。
- ・ALT等の国の紹介や文化についての話を聞く。

ALT等との人間関係づくりができ、チームティーチングがよりスムーズに行えます。

### 教材・教具を作成する

- ・国が作成したデジタル教材や、電子黒板等の活用の仕方を理解する。
- ・児童の興味・関心を引き出す教材について協議する。
- ・協力して教材を作成し、効果的な活用について協議する。

## 指導案作成を通して指導方法を学ぶ

### 具体的なすすめかた



## 指導案作成

### (1) 研修についての説明 (10分)

研修のねらい、すすめかた、単元計画や指導案の立て方について説明する。



### (2) 単元計画作成 (40分)

単元の最後にどんなコミュニケーションを楽しむ活動を位置付けるか考える。  
1時間ごとに、メインとなる活動を考える。  
1時間ごとのおおまかな流れを考える。

1単元に1ヶ月を目安とし、4時間分の内容を考えましょう。

5～6名のグループで行います。学年団や分掌等編成を工夫し、無理なく取り組めるようにしましょう。

英語ノートやそれまでの実践を参考にし、児童のコミュニケーションへの意欲を高める活動と配列を考えましょう。



### (3) 指導案作成 (60分)

単語や表現に親しむ活動や、コミュニケーションを楽しむ活動等を取り入れながら、1時間の指導案を作成する。

チャンツやゲーム等、楽しみながら英語に親しむ活動を効果的に取り入れましょう。

自分の言いたいことが伝わった、相手の考えが分かったなど、相互理解が図れる活動を取り入れましょう。

学校の実態で、担任単独でするか、担任とALTのTTでするのかを決めましょう。

### (1) 研修についての説明 (5分)

研修のねらい、すすめかた、模擬授業のしかたについて説明する。



### (2) 教材作成と練習 (40分)

発表部分の教材を作成するとともに、模擬授業発表の打合せや練習をする。



### (3) 発表と意見交換 (15分×グループ数)

各グループ15分程度で発表し、終了後よかったところや改善点等について意見交換を行う。

ねらいにせまる活動だったか話し合しましょう。

#### 模擬授業のすすめかた(例)

発表(8分)  
他のグループからの感想(2分)  
質疑応答・意見交換(3分)  
撤収・準備(2分)



### (4) まとめ (10分)

アンケート(振り返り)

2～3回に分けて実施したり、夏期休業中にまとめて実施したりするなど持ち方を工夫し、全員が意欲的に取り組めるものにしましょう。

# 公開授業を通して指導力の向上を図る

## 具体的なすすめかた



### (1) 研修についての説明 (5分)

研修のねらい、すすめかた、グループ協議の方法について説明する。

授業参観の視点を再度確認し、協議の焦点化を図ります。

### (2) 本時の活動の体験 (5分)

本時の中心となる活動を参加者全員で体験する。

活動の体験が、研究会の雰囲気や和らげ、児童の立場に立って協議をすすめるきっかけにもなります。

ワークシートやシールなど、活動に必要なものを参加者分用意しておきましょう。

### (3) 自評及び質疑応答 (5分)

児童の実態、ねらいと単元構成、授業の展開について確認する。



食べものやさんに行こう!

### (4) グループ協議 (40分)

ねらいに照らして見た児童の様子、授業の改善点等について、付箋紙等を活用しながら協議する。

### (5) 発表 (15分)

各グループの協議内容について発表する。

授業の改善案に絞って発表すると、次のまとめにつながります。



ALTの先生が店員さん役のお店で買い物です。自分のほしい食べ物について、身振りなども交えながら伝えていたか、何人かの児童に焦点を当てて参観・協議すると効果的です。

Good!  
Great!

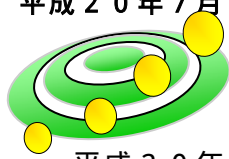
### (6) まとめ (30分)

協議内容をもとに、今後の取組の方向性について確認する。

学校の実態に合わせた研修の工夫が必要です。疑問点は東部教育局にご相談ください。

次の授業に生かせるよう、ポイントを整理しましょう。

平成20年7月15日(火)



# 楽しくスタート! 小学校外国語活動

## ~ 担任が主体的にすすめる活動をめざして ~ Part1

平成20年7月7日(月)の小学校外国語活動中核教員研修の内容をもとに、「オリジナル・フル・ツ・パフェをつくろう」の模擬授業を体験しました。児童役になることで、コミュニケーションへの意欲につながるポイントを学びました。

学級担任(HRT)と外国語指導助手(ALT)のチームティーチングという設定で行いました。

模擬授業

「体験しよう! 英語活動の基本的な流れ」

質疑応答

「授業をすすめる際のポイント」

(授業体験から)

「おすすめオリジナル・フルーツパフェをつくって紹介しよう」という活動を設定

- ・キーワードゲームで果物の単語に慣れ親しむ
- ・パフェに必要な果物を考え、店員役とお客さん役になって買い物のコミュニケーションを楽しむ

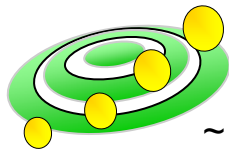


互いのアイデアに触れることで、友達とのつながりが深まります。

自分がやってみて、励ましてもらったら意欲がわくことがよくわかりました。児童への言葉かけは、英単語だけでいいことがわかり気持ちがとても楽になりました。

You can do it!

平成20年9月30日(火)



# 楽しくスタート! 小学校外国語活動

## ~ 担任が主体的にすすめる活動をめざして ~ Part2

平成20年7月15日(火)のワークショップPART1に続いて、「オリジナル・フル・ツ・パフェをつくろう」の模擬授業の先生役を体験しました。また、児童の興味関心を引くカードの作成方法や提示の仕方について、拠点校の実践に学びました。

学級担任(HRT)単独の指導という設定で行いました。

授業体験

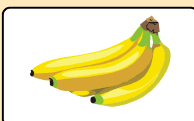
「体験しよう! 活動と声かけ(クラスルームイングリッシュ)」

事例紹介

「こうすれば作れる! 英語活動の教材・教具」

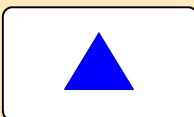
(授業体験から)

カード表

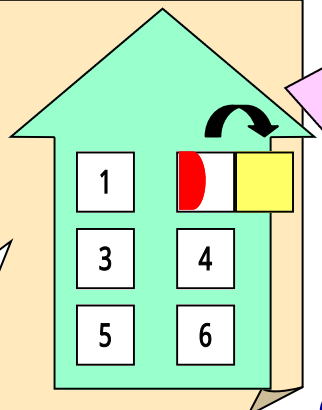


カードの裏に図形や数字を入れておくと活用度がより高まります。カードの四隅を丸くしておくと安全です。

カードの裏



児童に数字をたずね、1つずつ窓を開けることで、中に入っているカードへの興味が高まります。



- ・実物を見ながら教材づくりのヒントが聞けて大変参考になりました。さっそく作ってみます。
- ・あまりかたく考えずやってみる、かかわりのある活動をするのが大切だと実感できました。

Great! Great! Good job!